

公安委員会定例会議(第29回)の開催状況

第1 日 時 令和6年11月13日(水)
午後2時07分 ～ 午後5時01分

第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 小野委員説示

近年、日本では高校卒業生の減少と人出不足が深刻な問題となっており、公務員においても求人に苦勞しているという話を聞きますので、本日は、産業界における新卒労働者の実情と取組についてお話ししたいと思います。

日本では、少子化が進んで子供の数が年々減少し、それに伴って高校卒業後に就業する生徒も減少し労働力の確保が難しくなるなど、経済や社会に様々な影響を与えています。

私の地元はいわゆる工業都市で、大手グループ企業とともに発展してきました。10数年前は、高校卒業後に市内や県内で就職する学生は1,000人程度いましたが、近年、卒業生の減少や進学率の上昇により、就業者数は250人と過去の4分の1程度になっています。このように人手不足が深刻化し、少なくなった労働者を奪い合う状況となる中、大企業は、団塊世代の退職の補填や将来的な労働力不足を見越して採用を拡大するなど、積極的な新卒採用に取り組んでいるほか、資金力や福利厚生が充実していることも相俟って、就職を希望する学生から人気を集めています。

他方で、中小企業が大企業に対抗することは難しく、労働者は減少する一方です。中小企業が大企業に負けず入社人員を確保するためには、企業の独自性や魅力を強くアピールすることが重要です。まず、中小企業では、社員一人一人が多様な業務を担当し、早い段階で責任ある仕事を任されるため、新入社員でも専門スキルや実務経験を積みやすく、自分の成長が実感できます。また、組織がフラットで、社員のアイデアや提案が組織運営に反映されやすく、「自分の意見が会社に貢献している」という実感を得られることが働きがいにつながります。さらに有給休暇の取得、フレックスタイム制、地方祭の完全休日など、柔軟な勤務体系を導入しやすい点も中小企業ならではの強みです。中小企業は社員のライフスタイルに合わせた働き方を可能とし、働きやすい環境を整えることで魅力を高めています。

人材確保が厳しい状況に変わりはありませんが、社員の満足度が向上すれば、社員の紹介等による採用が増加し、大企業にはない働きがいや独自の魅力を前面に押し出すことで、働いてみたいと思わせる企業づくりが可能になると思います。県警察においても採用活動は厳しさを増していると思いますが、県民の安全・安心のため、県警察にしかない独自の魅力ややりがいを発信し、人材確保に努めていただきたいと思います。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和6年第28回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 禁止命令等実施報告

生活安全部から、禁止命令等実施報告について伺いがあり了承した。

(3) 飲食店に係る処分量定

生活安全部から、飲食店に係る処分量定について伺いがあり了承した。

(4) 風俗案内所に係る処分量定

生活安全部から、風俗案内所に係る処分量定について伺いがあり了承した。

(5) 麻酔猟銃の許可に関する助言

生活安全部から、麻酔猟銃の許可に関する助言について伺いがあり了承した。

(6) 愛媛県特殊詐欺等撲滅条例施行規則（公安委員会規則）の一部改正

刑事部から、愛媛県特殊詐欺等撲滅条例施行規則（公安委員会規則）の一部改正について伺いがあり了承した。

(7) 警察職員等の援助要求

警備部から、警察職員等の援助要求について伺いがあり了承した。

(8) 自動車運転代行業の営業停止処分

交通部から、自動車運転代行業の営業停止処分について伺いがあり了承した。

(9) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、18件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 令和6年9月定例県議会の開催結果

総務室長から、令和6年9月定例県議会の開催結果について報告があった。

委員から、「凶悪犯罪やテロなどの未然防止に向けた取組に係る一般質問に対して、本部長が、「インターネット上に流通する情報を含め、関連情報の収集及び摘発に力を入れている」と答弁している。正にインターネット上では様々な情報が悪用される可能性があり、サイバー空間を舞台としている以上、都会に限った話ではなく、当県においても起こり得ることから、取締りを強化していただきたい」との発言があった。

委員から、「県議会において様々な質問が出たことは、県警察に対する関心の高さであると思う。こうした質問に的確に答えて実践していくことが県民の安全・安心を導く成果につながると思うので、今後とも各種警察活動に励んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「本部長答弁のとおり、本年8月末現在、県内において電動キックボード等181台が特定小型原動機付自転車としてナンバー登録されているが、当該車両による人身交通事故の発生はない。しかし、都

会では関連する事故が増加傾向にあると聞く。こうした小型モビリティは便利な反面危険も伴うことから、安全利用に係る周知に努めていただきたい」との発言があった。

(2) 令和 7 年愛媛県警察運営目標の策定

警務部長から、令和 7 年愛媛県警察運営目標の策定について報告があった。

委員から、「県民を交通事故から守る活動の推進は重要な目標である。年末年始に向け、特に酒気帯び運転の防止は重要な課題であり、酒気帯び運転を繰り返す悪質な者もいることから、関係機関と連携して取締りを強化いただきたい」との発言があった。

委員から、「来年に向けて新たな県警察運営目標が策定されたことは喜ばしい。県警察が力を入れて取り組んでいる松山市内の繁華街・歓楽街対策は画期的で、他県の反響も大きい。県民の安全・安心のため、目標を高く設定し頑張っていたいただきたい」との発言があった。

委員から、「県警察による松山市内の繁華街・歓楽街対策により、無料案内所に掲示されたホストクラブの派手な看板が減少するなど、やはり警察の威力はすごいと実感している。新しい県警察の運営目標に、「社会情勢の変化に対応しながら」とあるが、まさに社会情勢の変化を鋭敏な感覚で察知し対策を講じていくことが重要であり、今以上に安全・安心なくらしを守るため、職務に励んでいたいただきたい」との発言があった。

(3) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関して報告があった。

4 その他

(1) 情報通信部長から、本年11月 9 日に発生した愛媛県内の大規模停電による通信機器等への影響について報告があった。

(2) 本部長から、「委員から、民間企業の採用情勢に関し、産業界における新卒労働者の実情と人員確保に向けた取組について説示をいただいた。県警察においても採用活動に力を入れて取り組んでいるところ、処遇面では大企業に及ばない点がある一方、恵まれた点として、仕事のオリジナリティ、マスコミの注目度の高さ、社会貢献度等のアドバンテージを有していることから、今後も仕事を通じて自分を成長させることができる職場環境を若者に提供してまいりたい。また、県警察のイメージアップ戦略として、テレビ番組を活用し、親しみやすさをアピールしたいとも考えている。いずれにしても、長期的にみれば人手不足は続くものと思われるが、県警察としては、採用活動の強化はもちろんのこと、業務の合理化や先端技術の導入等、先々を見据えて組織基盤の強化に取り組んでまいりたい」との発言があった。

以 上